

日本分析化学会九州支部 2016年度 幹事会 議事要旨

日時：平成 28 年 11 月 18 日（金）10 時 30 分～12 時 30 分

場所：北九州国際会議場 2 階 22 会議室

議題

1. 報告事項

1) 2016年度支部事業経過報告および予定

九州分析化学若手の会 第29回春の講演会および第34回夏季セミナー

5月14日(土)に福岡大学中央図書館多目的ホールにおいて開催された第29回九州分析化学若手の会春の講演会および7月29日(金)～30日(土)にみるきーすばサンビレッジにおいて開催された第34回夏季セミナーについて、吉田亨次先生(福岡大学理学部)および末田慎二先生(九州工業大学情報工)より提出された資料に基づいて、庶務幹事の佐藤しのぶ(九州工業大学院工)、会計幹事の末田慎二先生より報告がなされた。

第57回分析化学講習会

8月3日(水)～5日(金)に九州大学伊都キャンパス、福岡大学理学部および福岡市産学連携交流センターにおいて開催された第57回分析化学講習会について、庶務幹事の佐藤から説明がなされた。また、実行委員長の下田満哉先生(九州大学農学部)より、X線分析について福岡大学にて行われたことが報告された。また、11月22日の第57回分析化学講習会実行委員会にて、事業報告が行われ、これをもって、報告書が承認されることが報告された。

収入の部の協賛金について、九州大学学術都市推進機構(OPACK)から20万円の助成が受けられたことが報告された。また、支部長の竹中繁織先生(九州工業大学院工)より、特定の教員に負担が集中することから、次年度は、実行委員長は前年度支部長が行うことが報告された。

2016年度九州支部情報交換会・講演会・見学会(分析化学会九州支部創立60周年記念会)

2016年度の情報交換会、講演会、見学会については分析化学会九州支部創立60周年記念会として、行われることが支部長の竹中繁織先生より説明された。見学会として、11月19日10時より、TOTOミュージアムへ見学することが説明された。

## 機器分析ワークショップ

川上健次様((株)ジェイ・サイエンス西日本)より、機器分析ワークショップの概要とアンケートの結果について説明がなされた。第1回は4月26日熊本大学での開催が計画されていたが、熊本地震のため、7月20日に延期され熊本大学で無事に開催された。第2回は10月26日に大分大学にて行われた。

## 学会共催・後援・協賛

世話人の大平慎一先生(熊本大学)より、12月1日～2日に開催される第33回イオンクロマトグラフィー討論会(討論主題は、プレカラムとポストカラム～分離の前後における革新技术～)が熊本市国際交流会館で開催されることが紹介された。

## 2016年度九州分析化学会賞・奨励賞

6月11日に開催された選考委員会について、選考委員長の河津博文先生(近畿大学産業理工学部)より報告がなされた。1名の九州分析化学会賞と7名の奨励賞候補者について、8名の委員で選考を行った。十分な業績と実力を持っていることから、全員に対して授賞を決定したことが報告された。本年度の受賞者は以下の通りである。

### 【九州分析化学会賞】

肥後盛秀先生(鹿児島大学)

### 【九州分析化学奨励賞】

石郷翔人氏(九州大学大学院薬学研究院), 清川恵奈氏(福岡大学大学院薬学研究科), Mahmoud Hamed Mahmoud Hamed Elmaghrabey 氏(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科), 郭建氏(九州大学大学院農学研究院), 宮尾寛樹氏(九州工業大学大学院情報工学研究院), 川越亮介氏(九州大学大学院薬学研究院), 登貴信氏(九州大学大学院工学研究院),

## 第53回化学関連支部合同九州大会

庶務幹事の佐藤より、7月2日に開催された第53回化学関連支部合同九州大会についての報告がなされた。九州分析化学ポスター賞は8名の委員によって選考され、4名の授賞を決定したことが報告された。受賞者は以下の通りである。

井上広太郎氏(熊本大学大学院自然科学研究科)

駒林玄軌氏(九州大学大学院農学研究院)

高田雄介氏(九州大学大学院薬学研究院)

野口栞氏(熊本大学大学院自然科学研究科)

## 2) 2016年度支部会計中間報告

会計幹事の末田慎二先生より、2016年度会計の中間報告がなされた。本年度は、収入の部に熊本震災対応等経費160万円が含まれていることが報告された。これにより、夏季セミナーにて熊本県の学生については参加費を支部負担としたこと、100万円を創立60周年記念会の費用としたことが報告された。

## 3) 理事会報告

原田明先生(九大院総理工)より、常任幹事会以降の理事会について説明がなされた。会員の枠として、準会員が新設されること、2017年の年会は本部行開催となることが報告された。五反田サンハイツの一室の売却等により、予算状況は改善しているが、引き続き厳しいとの報告がなされた。

## 4) 本部支部連絡会議

支部長の竹中繁織先生より、5月28日と9月14日に開催された第1回及び第2回本部・支部拡大連絡会議についての報告がなされた。熊本震災対応等経費について依頼し、支部に予算配分されたことが報告された。

## 5) 各誌編集委員会

### Analytical Sciences

これまでに開催された4回の「Analytical Sciences」編集委員会について、編集委員の宗伸明先生(佐賀大)より提出された資料に基づいて、庶務幹事の佐藤より議事録の説明がなされた。

### 分析化学

これまでに開催された2回の「分析化学」編集委員について、原田雅章先生(福岡教大教育)より議事録についての説明がなされた。

### ぶんせき

これまでに開催された3回の「ぶんせき」編集委員会について、編集委員の富安卓滋先生(鹿児島大学)より提出された資料に基づいて、庶務幹事の佐藤より議事録の説明がなされた。

## 2. 審議事項

### 1) 2017年度支部事業計画案

支部長の竹中繁織先生より2017年度計画案について、第54回化学関連支部合同九州大会および九州分析化学若手の会の春の講演会および夏季セミナーについて概要が説明され、続いて世話人より詳細が説明された。

#### 第54回化学関連支部合同九州大会

庶務幹事の佐藤より、会告案がまだ届いていないが、2017年7月1日開催であることが報告された。

#### 分析化学若手の会 春の講演会

代表世話人の佐藤より、春の講演会の案についての報告がなされた。開催期日は5月13日(土)で、北九州国際会議場にて行われる予定であり、4件の講演が予定され、3名の講師と1つの企業は内諾済が得られていることが報告された。

#### 分析化学若手の会夏季セミナー

庶務幹事の佐藤より、分析化学若手の会 夏季セミナーの案についての説明がなされた。世話人は梅木辰也先生(佐賀大学)であり、開催期日は7月28日(金)～29日(土)、原鶴温泉 ホテルパーレンス小野屋であり、参加人数は150名を想定していることが報告された。

#### 2) 2017年度支部予算案

次年度予算案について、会計幹事の末田慎二先生より説明がなされた。基本的に例年通りであるが、来年度は熊本に移るため、本年度よりも旅費が多くかかると考えている旨が説明された。

#### 3) 支部役員の変更

庶務幹事の佐藤より、支部役員の変更について説明がなされ、承認された。

#### 4) 2017年度支部・本部関係役員

次年度支部・本部関係役員について、庶務幹事の佐藤より説明がなされた。理事については、次年度は交代であり、2015年、2016年支部長である肥後先生、竹中先生のうち肥後先生が担当することになった。代議員および編集委員について、内諾を得ていることが報告され、承認された。また、2018年度支部長として、高椋利幸先生(佐賀大学)の内諾を得ていることも報告された。監査として、竹中先生と満尾様が引き受けることを説明し、承認された。